

## 2014年度事業報告

### I 事業概況

#### 【0】基本方針・重点課題と成果

1. 2013年度に行ったJEI に対するアンケート結果を踏まえ、JEI の事業（活動・運営）の改善を進めた。特に広報、ウェブ活用、日本語エスペラント辞典改訂について前進を図った。
2. 昨年の第100 回日本エスペラント大会の成果を生かし、新たな展開に努めた。特に、アジアのエスペランティストとの協働、若年層の支援強化について検討を進め、また教育・文化面での活動を進展させた。
3. 上記を通じて、会員の減少傾向に歯止めをかけるべく努めた。

#### 【1】エスペラント普及事業

##### 【1. 1】基本方針と成果（担当：普及推進部）

国内外のエスペラント組織、本会会員との連携を強化し、協働の輪を広げ運動の発展を図った。第101 回日本エスペラント大会（福井県小浜市）を機に、北陸、中でも福井県でのエスペラントの普及にメディアでの露出、学習者増などの成果があった。また新たに設置した広報委員会を軸に、より効果的な広報の検討・推進を図った。

##### 【1. 2】エスペラント普及推進事業

1. エスペラント運動の現状把握に努めた。
  - (1) 『エスペラント運動年鑑2013』を『La Revuo Orienta』誌（RO誌）4月号号外として発行した。『エスペラント運動年鑑2014』のためのアンケートを実施し、2015年度の会誌4月号号外として公表した。
  - (2) 日本大会中に「エスペラント会懇談会」を開催し、情報の共有、経験交流、運動の方向の確認を図った。
2. 各エスペラント団体との関係をより緊密にした。
  - (1) 地方エスペラント大会（7大会）に理事長挨拶を送った。5大会に理事が参加した。
  - (2) 「エスペラント会懇談会メーリングリスト」を9月に設置し、情報交換、またエスペラントのチラシや展示パネルの電子ファイルでの収集を進めた。
  - (3) 『普及推進部だより』を4月、12月に発行し、運動年鑑に掲載の団体、団体会員にそれぞれ送付した。
  - (4) 2013年度に行ったJEIに対するアンケート調査の結果を「JEIの事業に対する意見集」としてまとめ、RO誌6月号号外として公表した。
3. 会員の拡大・定着：団体会員±0（61団体）。個人会員－15（1149人）（2014年12月末）。青年割引、電子版割引、支援会員が若干増加した。
4. 青年層の育成・支援を強めるための施策の検討を行い、会員の寄付を活用して青年支援基金を設立し、またこの基金による青年エスペラント企画支援金制度を2015年度より開始することとした。
5. 小坂賞：後藤齊氏、故柴田巖氏の共同授賞と決定し、日本エスペラント大会で授与した。

##### 【1. 3】エスペラント広報事業

1. 新たに広報委員会を設置して、会合を4回開いた（スカイプも利用）。フェイスブック、ツ

- イッターを含めたウェブ活用を進め、より効果的な広報の検討を行い、推進した。
2. 本会のウェブページに、エスペラントについて、また行事・講習会等に関する情報を提供した。
  3. 各地の講習会、大会などの情報を集めたマスコミ向け広報誌『エスペラント通信』を9月と2015年3月に発行した。
  4. 広報委員会によるニュースリリース『エスペラントの今』の発行を始めた。12月に「エスペラントとユネスコ」、3月に「エスペラントの予備教育的価値」を取り上げ、マスコミ各社に配布した。
  5. 広報材料の拡充を図った。
    - (1) 新エスペラント三つ折チラシ『世界がグッと近づくやさしいことば』を青年層が中心となってデザインし、9月下旬に発行した。1万部印刷し、会員が無料で利用できるようにした。
  6. 展示会：10月4～5日のグローバルフェスタJAPAN2014（東京）に出展した。

## 【2】 エスペラントを用いた国際交流事業（担当：国際部）

### 【2. 1】 事業の方針と成果

国際的なエスペラント事業を、特に世界エスペラント協会（Universala Esperanto-Asocio = UEA）の日本における国別代表組織として推進し、UEAのアジア運動委員会（Komisiono pri Azia Esperanto-Movado = KAEM）と協働した。また日本のエスペランティストが行う国際的なエスペラント活動を支援し、外国のエスペランティストに日本の各種行事への参加を促した。

### 【2. 2】 国際交流事業

1. 国際的なエスペラント大会へ参加し、また協力した。青年層には「青年エスペランティスト国際行動支援金」制度の活用を呼びかけた。
  - (1) 第99回世界エスペラント大会（アルゼンチン／ブエノスアイレス、7月26日～8月2日）に対して、参加旅行団を組織し、22人が参加した。各国の運動フェア（Movada Foiro）に出展した。またUEA-A委員2人（内代理1人）がUEA委員会に出席した。
  - (2) 第101回日本エスペラント大会中の関連行事—アジア活動分科会、UEA-Delegitoj（都市別代表）分科会、Pasporta Servo（国際民宿網）分科会—を開催し、それぞれの活動の活発化を図った。同大会へ東アジア地区の韓国、中国、ベトナム、モンゴル4か国へ代表各1名の参加招待状を送り、韓国、中国（来日者が代表挨拶代読）、ベトナム（ビザ支援した）より参加があった。
  - (3) 第4回ILEI東アジアセミナー（ISOA）参加の中国人4人と、ISOAおよび日本エスペラント大会にも参加する中国人8人、計12人に対しビザ申請支援を行い、対象者は来日して大会に参加した。
  - (4) 青年エスペランティスト国際行動支援金の利用はなかった。
2. KAEMを主に国内で支援するために、メーリングリストkaemJP-subtenantojを発足させた。
3. UEAから会員増の呼びかけ協働依頼に応じて、新入会案内（Nova Varbilo）と第100回世界エスペラント大会案内（Unua Bulteno）を各200部取り寄せ、12月初旬ザメンホフ祭開催予定の地方会等、全49か所へ送付し、第100回UKの参加と関連づけて、UEA会員への勧誘を呼びかけた。20人が新入会した。

4. 国際文通サービス：21件を仲介した。

### 【3】エスペラント研究教育事業（担当：研究教育部）

#### 【3. 1】事業の方針と成果

1. 教育部門においては、エスペラント学習者に語学力向上の支援、エスペラント指導者の育成、エスペラント入門のための教材提供、学校におけるエスペラント授業への支援、エスペラント界外でのエスペラント教育に関する事業への支援等に取り組んだ。
2. 研究部門においては、エスペラント語学の振興および関連諸分野との交流を含めたエスペラント語論の発展に取り組んだ。
3. ハヶ岳エスペラント館を本会の研修施設として運営・活用した。

#### 【3. 2】研究教育事業

1. エスペラント集中学習の機会を設けた。
  - (1) 第47回エスペラントセミナリーオ・夢の島を5月3～5日に東京都江東区で開催した。35人参加、4クラス。
  - (2) 講師養成講座：10月7日～10日の第4回東アジアILEIセミナー（亀岡）と連携して、セミナー全体を講座の一環とした。ILEI日本支部会員を中心として、計38名が参加し、教え方の技術、心構え、教材、授業モデル等について学んだ。
2. 各種試験
  - (1) エスペラント学力検定試験を、5月に東京都で1人、8月に川崎市で2人、10月に東京都で7人および福井県小浜市で3人が受験した。
  - (2) KER試験対策講座を3月28日に東京で実施した。5月の受験予定者3人を含む6人が参加。
3. 新教材『ドリル式エスペラント入門（その1・その2）』は、従来の紙版と（その1）のウェブ版に加え、（その2）のウェブ版、（その1）のユーチューブ版も公開した。
4. 日本エスペラント大会で研究発表会を実施した。発表2件。（6.2項関連）
5. 日本エスペラント大会で文芸コンクールを実施し、原作部門1編、翻訳部門5編の応募から、原作部門1編、翻訳部門3編を表彰した。
6. 昨年の第100回日本エスペラント大会記念公開講演会の報告書を編集し、発行した。（5.2項参照）。
7. 学校でのエスペラント授業支援：中学校1件で総合学習の時間・ミニ講座の支援として、『国際語エスペラントへの招待』40冊を贈呈した。
8. lernu.net日本語版の翻訳および指導チームができるよう働きかけをしたが、まとまりのある活動を作るまでには至らなかった。

#### 【3. 3】ハヶ岳エスペラント館における事業

1. 4月11日に開館し、11月15日に閉館した。延べ利用者数476人（運営委員を含む）。年間目標とした延べ利用者300人を超えた。
2. ライセンス所有者の集いを5月3～5日に開いた。参加者はライセンス所有者2人、新規取得者1人。
3. エスペラント漬け合宿（Nur-Esperanta Kunvivado）を8月23～25日に実施した。17人が参加。
4. ハヶ岳エスペラント館20周年記念行事を9月13日に実施し、23人が出席した。

5. 館内の展示を更新した。

#### 【4】エスペラント雑誌の刊行事業（担当：編集部）

##### 【4. 1】事業の方針と成果

雑誌『La Revuo Orienta / エスペラント』（RO誌）を原則として毎月発行し、エスペラントの普及発展に資した。

##### 【4. 2】雑誌刊行事業

1. RO誌を毎月（9月以外）刊行した（電子版、音声版を含めて）。発行部数1500部（年度当初）。
2. 他部門と連携し、号外を発行した：4月号外（エスペラント運動年鑑2013）、6月号外（JEIの事業に対する意見集）、10月号外（図書カタログ）、1月号外（第101回日本エスペラント大会報告書）。
3. 拡大編集会議を2015年1月10日に実施した。

#### 【5】エスペラント図書等の刊行及び頒布事業（担当：出版部）

##### 【5. 1】事業の方針と成果

エスペラントの学習、エスペラントに関する文化の発展、エスペラント普及に資する図書出版活動を行った。また、内外のエスペラント図書の販売を行い、雑誌購読を取次いだ。

##### 【5. 2】図書刊行事業

1. 図書の発行
    - （1）藤巻謙一著『エスペラント中級独習』（CD付）を4月に発行した。
    - （2）阪直著『20のポイントで学ぶ国際語エスペラント』（新装版）を4月に発行した。
    - （3）大森和良著、北川昭二エスペラント訳、上原徳治絵の『La vilaĝo, al kiu la vento blovis』（風の吹いてきた村）を10月の日本大会の記念品として発行した。その後、残部僅少につき再版した。
    - （4）土居智江子編『福井県エスペラント運動史』を10月の日本大会の記念品として発行した。
    - （5）日本エスペラント協会シンポジウム委員会編『第100回日本エスペラント大会記念 公開講演会（2013年）報告書』を10月に発行した。
    - （6）ILEI-JP編集・翻訳の『発見！エスペラント』の第3版を8月に発行した。
  2. 今後の出版物の計画
    - （1）『日本語エスペラント辞典（宮本正男編）』の改訂版出版のための委員会（準備会）を2015年2月15日に実施した。
- ##### 【5. 3】図書頒布事業
1. エスペラント書籍の販売、取次ぎを行った。
  2. RO誌 やJEIウェブサイトにも新刊や話題の図書などを定期的に紹介し、エスペラント図書の拡販に努めた。

#### 【6】エスペラント大会主催事業（担当：大会組織部）

##### 【6. 1】事業の方針と成果

2014年度の日本エスペラント大会を開催し、大会を継続して開催する体制の整備を進めた。

##### 【6. 2】日本エスペラント大会主催事業

1. 第101回日本エスペラント大会（福井県小浜市、10月11日～13日）
  - (1) 福井エスペラント会と共同主催した。大会テーマは「海を越えて響き合うー食と自然と友好とー」“Ni akordu trans la maro -manĝo, naturo, amikiĝo-”関連するリレー講演会を行った。
  - (2) 大会参加申込者405人、実参加は240人、海外からの参加者は9か国より29人、この内、国際部よりの招待は3人であった。
  - (3) 国際部の招待とは別に、大会としてアジアより（韓国より渡航費を含めて）青年を1人招待した。
  - (4) 開会式での来賓挨拶で松崎晃治小浜市長がエスペラントを半分以上含む挨拶をされた。漁村民宿を宿舍・懇親会（バンケード）会場とした。
2. 第102回日本エスペラント大会を宮城県仙台市で2015年10月10日（土）～12日（月・祝）に開催する準備を進めた。大会第1報、第2報を発行し、ウェブページを発足させた。
3. 第103回日本エスペラント大会（2016年）の開催地の候補の検討・交渉を進めた。
4. 日本エスペラント大会を円滑に実施するための体制を整え、「日本エスペラント大会常置委員会に関する内規」を制定した。大会実行に係る「チェックリスト」をまとめた。

## 【7】その他事業及び法人の管理

### 【7. 1】事業の方針と成果

会員の活動支援、本会の事業を円滑に進めるために諸事業を行った。また前年に引続き、新財団の管理方法確立に取り組んだ。

### 【7. 2】総務部担当事項

1. 総務部の各種職務を実行した。財務部とともに隔月に事務局会議を開き、緊急な課題に対応した。
2. 図書館関連事業を、ボランティアの協力を得て推進した。月に1回、図書を整理し、寄贈された図書は保存用、貸出図書、販売用古本に分けている。保存用はジャンル別に、E関連図書は著者別に分類している。
3. 図書カタログを発行した。また、エスペラントの日記念公開講演会（次項4参照）に合わせて古本市を行うなど、図書販売促進を図った。
4. 6月12日の「エスペラントの日」に対応して、第5回記念公開講演会を開催した。後藤齊氏と木村護郎クリストフ氏による2講演を行い、66人が参加した。
5. 関連事業部と協力し、第99回世界エスペラント大会（アルゼンチン）への参加旅行団を企画し、無事終了した。
6. 新財団移行に伴う規程類の新制定、改定を概ね終了したため、規程類をまとめ、役員に配付した。

### 【7. 3】財務部担当事項

公益目的支出計画および長期予算計画との整合を取りつつ、中長期的な視野の下に堅実な収支運営を図った。総務省に2013年度の公益目的支出計画実施報告書を6月に提出した。

### 【7. 4】ウェブ管理部担当事項

1. 本会のウェブページにて、一般財団法人としての情報公開、会員への情報サービスなどを提供した。フェイスブック、ツイッターの活用を本格的に始めた。
2. 本会ウェブサイトの刷新仕様をまとめた。一般人向けにも対応した内容とし、情報更新の協

同作業を目指したもの。

3. ウィキペディアのエスペラント版の編集手引書第2版を完成し、RO誌10月号の「JEIだより」で周知した。

## II 庶務事項

### 1. 会議の開催

- (1) 評議員会：6月22日
- (2) 理事会：5月18日、6月22日、2015年3月22日
- (3) 業務執行理事会：9月7日、2015年1月18日
- (4) 副理事長会：4月18日、7月11日、11月14日、2015年2月15日
- (5) 監査：5月17日
- (6) 協議員会：5月18日、2015年1月18日
- (7) 会員総会：10月13日、小浜市の日本エスペラント大会会場内

2. 会員：1210（2014年12月末、個人会員1149、団体会員61）。

### 3. 役員・職員等の人事

- (1) 理事・監事：任期終了（6月）のため、協議員による理事及び監事候補具申のための選挙を実施（開票：5月1日、具申：5月18日理事会）。評議員会（6月22日）にて新任期（2014年6月～2016年6月）の理事・役員を選出。新理事による理事会（6月22日）で理事長や理事の業務分担を決定。
- (2) 協議員：欠員が2人出たため、2人の補充を理事会（6月22日）で決定。任期終了（12月）のため、会員による協議員選挙を実施（告示：10月1日、立候補締切：11月11日、定員11人に対し候補者13人で選挙、開票：12月13日）。新任期：2015年1月～2016年12月。

### 4. その他

- (1) エスペラント会館2階（2014年2月より空き）に、新テナント（日本IDS）が2015年2月に入居した。

(以上)